

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2023年4月19日 第49期 No. 1-561

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

皆様お元気でしょうか。新しい年度が始まりました。今年度は85名です。来年は50周年、皆様と一緒に祝いをしたいと思えます。

## 会員水野正子さんがお亡くなり

南青山にお住まいの水野正子さんがお亡くなりになりました。4月の定例会で黙祷をささげました。ご冥福を祈ります。

## 第49期総会

日時 5月1日(月) 13:30~16:00

会場 我孫子南近隣センター 8F 調理室。

総会に続いて5月の定例会を開きます。4月の「お知らせ」と一緒に総会資料も配布します。当日はそれをご持参ください。よろしく。

## 室山哲也さんの講演会

### ～持続可能社会をどう創るか～終了

4月17日に、千葉県消費者団体連絡協議会主催で、千葉県消費者センターで開きました。

我孫子からは15名が参加しました。報告は次回にします。

## 子どもの甲状腺ガンについて

会員で、我孫子地区に住んでいらっしゃる鈴木泰子さんから、子どもの甲状腺ガンと原発の危険性を書かれた文章を送っていただきました。許可を得て転載します。お読みください。

～ ～ ～ ～ ～

去る3月11日の松戸での「海渡雄一弁護士講演」と3月21日の「さようなら原発 全国集会」に参加して、私が一番ショックを受けたのは「福島の子どもの間で、甲状腺ガンが急増している」と知ったことです。そのことを皆さんに知っていただきたく、メールさせていただきました。

33年ほど前は、仕事で関西電力・高浜原発と、日本原電・東海第二原発を見学しました。その時、「近隣住民の避難マニュアルは作っていない」と聞いて、真っ先に頭に浮かんだのは、「もし事故があったら、近くの住民は何も知らずに放射能を浴びて健康被害が出るのではないか」ということでした。

その4年前にチェルノブイリ事故があり、大勢の子どもたちが甲状腺ガンにかかって手術を受けている悲惨なニュースを見ていたからです。

あの時の心配が現実になりました。今、福島でもチェルノブイリと同じことが起きています。

小児甲状腺ガンは通常、年間、100万人に1～2人しか発生しないまれなガンだそうです。ところが、福島では、この12年間で、(当時18歳以下だった子ども38万人に対して)345人もの甲状腺ガンが発生しています。(2023年3月22日時点) どう見ても異常な数です。他の県ではどうなのでしょう？

事故当時18歳以下だった38万人の人たちに、事故後、2年ごとに甲状腺検査が実施されてきました。

4巡目までは異常なしだったのに、5巡目の検査(つまり事故から10年目)にガンが見つかった人もいます。チェルノブイリでも、事故の直後ではなく、何年もたって甲状腺ガンがピークに達していますが、福島でも、今がピークなのか、それとももっと増え続けるのでしょうか？

一度手術を受けたあと、再発した人も20人以上います。

甲状腺ガンが肺に転移している女子大生もいて、「さようなら原発集会」で、彼女のメッセージが

代理人によって読み上げられました。甲状腺ガンは予後がいいと聞いていたのですが、転移もあるのですね。

これについて、国と東電は最初から「過剰診断だ」と言い張り、原発事故と甲状腺ガンの因果関係を認めていません。

そのため、2022年1月に、被害者の若者たち（最初は2名だったと思いますが、現在は7名）が、東京電力に対して損害賠償訴訟を起こしました。これが「3.11子ども甲状腺ガン裁判」（弁護団長・井戸謙一、副団長・河合弘之、海渡雄一）です。

事故から10年も経ってやっと訴訟に踏み切ったのは、「風評加害だ」とか、「復興の足を引っ張る」などと言われて圧力がかかっていたからだそうです。それでも原告に加わるのは、さぞかし勇気がいったと思います。

●2011年3月15日～16日にかけて、大量の放射性物質が放出されたにもかかわらず、住民には何も知らされなかった（これは我孫子市も同じ）。

●子どもたちに安定ヨウ素剤すら配られなかった（安定ヨウ素剤は放射性ヨウ素材を取り込んでから2時間以内に服用すれば90%のガン抑制効果がありますが、16時間を過ぎると効果はないそうです）。

●国は市民の目をくらまそうとして、3月16日の時点で、電通を使って安全宣言をするためのアドバイザーを探したそうです（そういえば、「笑っていれば放射能は逃げていく」とか、ふざけたことを言っていた先生がいましたね）。海渡弁護士によると、国とは当時の民主党ではなく、闇の勢力だそうです。（原子カムラ？）。

●これほど大勢の甲状腺ガン患者が出ているのに、国や東電は「過剰診断だ」「原発事故とは関係ない」と責任を認めようとしない。これが現実です。

まだ一審の判決は出ていませんが、この裁判の行方は国民の大きな注目を浴びると思います。

それは“原発事故による健康被害”を訴えた初

の裁判だからです（原発事故で東電と国を訴えた大きな裁判としては「刑事裁判」と「株主訴訟」がありますが、健康被害を訴えたものはこれが初めてです）。

健康被害は身近で切実な問題です。「原発事故でおおぜいの子供たちがガンになった」となれば、その衝撃は大きく、「やっぱり原発は怖い」と原発反対の声も高まるでしょう。国や東電はそれをいちばん恐れているようです。

海渡さんは「東電は絶対因果関係を認めないだろう」と言っていました。あの手この手で「関係ない」という主張を繰り返すのでしょ

う。口頭弁論もすでに何度も行なわれています（次回は6月）。

今後、医学的な論戦が繰り返されるとは思いますが、味方になって証言してくれる専門家はいるのか、裁判長は公正に判断してくれるのか・・・心配です。

この裁判を支援するための「3.11甲状腺ガン子ども支援ネットワーク」が去年発足しています。皆さんも興味があればネットでのぞいてみてください。私はこの裁判をずっと見て行こうと思いい、先日、微力ながら「マンスリーサポーター」に加わりました。

原発反対を言うときも、「事故でおおぜいの子供たちが甲状腺ガンにかかっている」という現実は、今後、強い説得力を持つのではないのでしょうか。以上、お知らせまで。 鈴木泰子

## 憲法を考える市民の集い

先月もお知らせしましたが、5月4日（祝）水島朝穂氏の講演会を開きます。チラシを配布しますので、是非ご出席ください。

## 社会福祉協議会の人事異動

消費者の会も参加している「高齢社会への対応を探る会」の事務局は、我孫子市社会福祉協議会が担ってくれています。今まで担当してくれていた山崎剛志さんが社協を辞められて、今年度から、野田夏子さんが担当されます。

～ ～ ～ ～ ～  
モンゴルから黄砂が飛んで来ました。地球は一つ